

Partial Translation of Japanese Laid-Open Patent  
Publication No. 61-215158  
(Published on September 24, 1986)

Japanese Patent Application No. 60-55166  
(Filed on March 19, 1985)

Title: METHOD FOR CONVEYING ARTICLE CONVEYER  
Applicant: KYOTO SEISAKUSHO CO., LTD.

(Claims)

1. A method for conveying an article conveyer, wherein an article conveyer (1) comprises an engaging body (4) to which some pressing force is applied, said article conveyer (1) being traveled by engaging said engaging body (4) with a drive chain (5).
2. A method for conveying an article conveyer according to claim 1, wherein said engaging body (4) is a roller engaged with pins (8), (8) positioned in front of and behind said chain (6).
3. A method for conveying an article conveyer according to claim 1, wherein a lever (6) is pivotally mounted on said article conveyer (1) and said engaging body (4) is attached to said lever (6), and wherein a coil spring (7) is disposed between said lever (6) and said article conveyer (1).

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑯ 特許出願公開

⑯ 公開特許公報 (A)

昭61-215158

⑤Int.CI. 1

B 61 B 10/04  
B 65 G 17/00

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和61年(1986)9月24日

A-6578-3D  
A-6662-3F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑤発明の名称 物品搬送台の搬送方法

②特願 昭60-55166

②出願 昭60(1985)3月19日

②発明者 林 正治 滋賀県蒲生郡竜王町鏡1161番地

②出願人 株式会社 京都製作所 京都市伏見区淀美豆町377番地の1

②代理人 弁理士 藤田 時彦 外2名

明細書

1 発明の名称

物品搬送台の搬送方法

2 特許請求の範囲

1. 物品搬送台(1)に押圧力が付与せしめられる係合体(4)を備え、該係合体(4)を駆動用のチェン(6)に係合せしめることにより物品搬送台(1)を走行させることを特徴とする物品搬送台の搬送方法。
2. 係合体(4)をローラとし、該ローラをチェン(6)の前後のビン(8), (8)に係合させてなる特許請求の範囲第1項記載の物品搬送台の搬送方法。
3. 物品搬送台(1)に枢着されたレバー(6)に係合体(4)を取り付け、該レバー(6)と物品搬送台(1)との間にコイルバネ(7)を配してなる特許請求の範囲第1項記載の物品搬送台の搬送方法。

3 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

(1)

本発明は、チェンの駆動により物品を載せる搬送台を走行させ、それを定位位置で停止させるに当って、チェンに負荷がかからないようにした搬送台の搬送方法に関するものである。

〔従来の技術〕

従来、チェンの駆動により物品を載せる搬送台を移送するに当っては、チェンに直接搬送台を固定したり、チェンに取り付けた爪などにより搬送台を引掛けた搬送していた。

〔発明が解決しようとする問題点〕

このようにすると、搬送台を定位位置で停止させるためには、チェンをその位置にぴたっと停止させなければならず、それだけ停止精度が要求される。従って、チェンの駆動及び停止の機構をそれだけ構造にしなければならない。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明はこのよう構造を特に必要としないようにしたものであって、その特徴とするところは、物品搬送台(1)に押圧力が付与せしめられ

ている保台体(4)を備え、該保台体(4)を駆動用のチェン(6)に保台せしめることにより物品搬送台(1)を走行させる点にある。

〔作用〕

押圧力が付与せしめられている保台体(4)は普段駆動用のチェン(6)に保台せしめられており、該チェン(6)の駆動により物品搬送台(1)は従来の場合と同様に搬送せしめられる。しかして、この物品搬送台(1)を移送途中の所定位間において強制的に停止させると、チェン(6)だけが引続いで駆動するから、保台体(4)はその押圧力に逆って変位し、チェン(6)との保台が解ける。

従って、チェン(6)には全く負荷がかかることがなく、そのまま駆動させることができる。

〔実施例〕

本発明の実施例を添付の図面に基づいて説明する。

物品移送用の物品搬送台(1)は左右一対の軌条(21), (22)上を走行するものとする。実施例では、

(21)

必ず押圧力が付与されねばよい。

また、保台体(4)をチェン(6)に保台せしめるに当って、実施例では保台体(4)をローラとし、該ローラをチェン(6)の前後のピン(8), (8)間に位置せしめて両ピン(8), (8)に保台させた場合を例示するが、本発明はこの場合にのみ限定されるものではなく、保台体(4)をローラ以外のもの例えば爪のような形のものとし、これとチェン(6)に設けた突片のようなものとを保台せしめるようにしてもよい。しかして、前者の手段を採用した場合には、少くとも保台体(4)とチェン(6)との保脱が後者の場合よりもスムーズに行われ、また、チェン(6)に別の部材を取り付ける必要がないから、製造面やコストの面でも有利である。

なお、実施例においてチェン(6)はローラチーンとし、それを軌条(21), (22)間に配した別の軌条(8)上を走行するようにした場合を示す。

第1図に示すように、押圧力が付与せしめられている保台体(4)〔実施例ではローラ〕は普段

特開昭61-215158 (2)

物品搬送台(1)に前後左右都合4個の車輪(3)を取り付け、各車輪(3)が軌条(21), (22)上を転動することにより物品搬送台(1)が移送せしめられる場合を例示するが、本発明ではこの形式のものだけに限定されるものではなく、車輪(3)を設けないいわゆるトレー型の物品搬送台を用いた場合にも応用することができる。

この物品搬送台(1)の底には押圧力が付与せしめられている保台体(4)を備え、該保台体(4)を左右一対の軌条(21), (22)間にこれと平行に配置された無端状のチェン(6)に保台せしめる。保台体(4)に押圧力を付与せしめるに当って、実施例では物品搬送台(1)の底に枢着されたレバー(6)に保台体(4)を取り付け、このレバー(6)と物品搬送台(1)との間にコイルバネ(7)を配した場合を例示するが、本発明はこれだけに限定されるものではなく、例えは保台体(4)を上下動可能に設け、この保台体(4)をバネで押圧するようにしてよい。要は、どのような手段でもよいか保台体(4)に

(4)

チェン(6)〔実施例ではその前後のピン(8), (8)〕に保台せしめられているから、チェン(6)が第1図の左側に走行することにより物品搬送台(1)は同図左側へ移動し、その中の物品を移送せしめることができる。

この移送中ににおいて、物品搬送台(1)を第3図に示すようにストッパー(8)に当てるなどして強制的に停止させると、チェン(6)だけが引続いで駆動するから、保台体(4)〔実施例ではローラ〕はその押圧力〔実施例ではコイルバネ(7)〕に逆って押し上げられ、チェン(6)との保台が解ける。

従って、チェン(6)には全く負荷がかかることがなく、そのまま駆動させることができる。

なお、物品搬送台(1)を強制的に停止させた後において、例えは位置決めローラ(図示しない)を用いて物品搬送台(1)をストッパー(8)に押し付けるなどしてその停止位置をさらに厳格に定め得るようにしておくと、物品搬送台(1)内の物品を定位置で取り出すときなどに都合がよい。

(5)

(6)

本発明におけるチェン(6)は、一方方向に走行させる場合のほか、所定位置まで走行した後元の位置まで後退するようなものであってもよい。

〔発明の効果〕

本発明によれば、物品搬送台(1)とこれを移送せしめるためのチェン(6)とが係脱自在であって固定されていないから、物品搬送台(1)を所定位置で停止させてもチェン(6)には全く負荷がかかることがなく、チェン駆動用のモータが過熱するというようなトラブルを避けることができる。また、物品搬送台(1)を所定位置で停止させるに当って、チェン(6)の停止精度に正確さを必要としないという利点もある。さらに、本発明によれば、物品搬送台(1)とこれを移送せしめるためのチェン(6)とが係脱自在であって固定されていないから、物品搬送台(1)をチェン(6)から容易に外し、あるいは逆に逆にチェン(6)は自由に回遊させることができ、従って、物品搬送台(1)を停止させた後これを持ち上げ再び降ろすなどの工程を

(7)

特開昭61-215158(3)

短る作業などに広く応用することができるという特長がある。

## 4 図面の簡単な説明

添付図面は、本発明の実施例を示すもので、第1図は、物品搬送台に備えられている係合体がチェンと係合している状態を示す一部切欠の正面図、

第2図は、それを側方から見たときの拡大断面図で、係合体押圧用のコイルバネは省略して示す、

第3図は、両者の係合が解けた状態を示す一部切欠の正面図、

である。

(1) …… 物品搬送台、(4) …… 係合体、(6) …… チェン、(6) …… レバー、(7) …… コイルバネ、(8) …… ピン。

特許出願人 株式会社 京都製作所

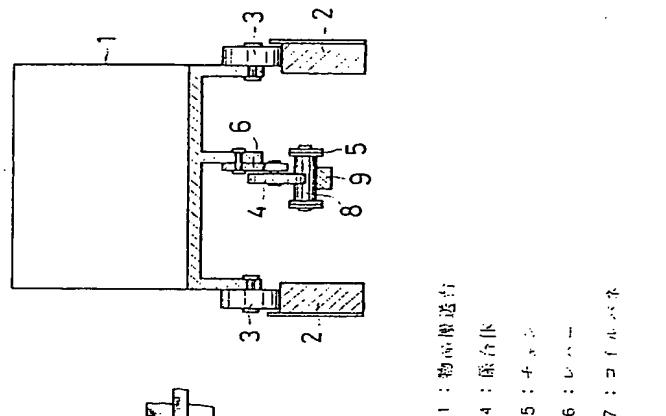
代理人弁理士 藤田時彦

ほか2名

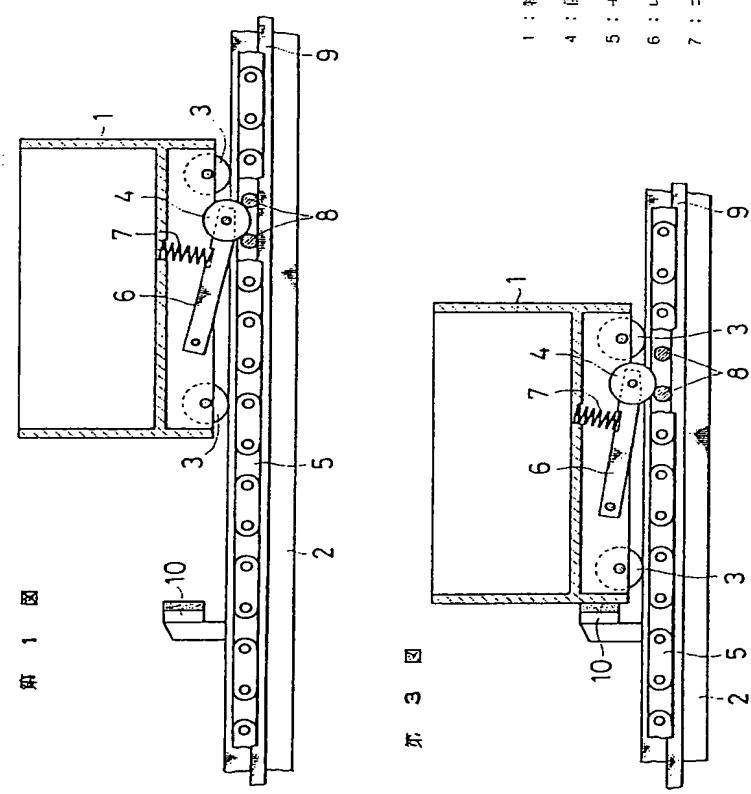
(8)

特開昭61-215158 (4)

第2図



第1図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**